



みちくさ

2017. 3. 24 No. 43 最終号

最高の卒業式を

毎年思うことですが、卒業式に臨む子どもたちの姿がとても素敵なのです。着飾っているからというわけではなく、やはり6年間の集大成として、最後に証書をもって巣立つ姿が、とても立派で大きく見えるからです。

証書をもらうとき、どの子どもも指導されたようにしっかりと私と眼を合わせてくれました。私もゆっくりと名前を読み上げ、「おめでとう」と気持ちを込めて証書を手渡すことができました。

卒業式を演出するために、フロアの真ん中にステージを設けるとか、児童と保護者が向かい合って座るとか、いろいろなやり方があるようです。どちらかという、片平のやり方はオーソドックスなタイプといえるでしょう。特別に派手な演出があるわけでもなく、伝統校らしい落ち着いた雰囲気です。式は進んでいきました。

いくつか心温まる場面もありました。証書をもって座席に戻る前に、子どもから親へ手紙を渡すことになっていました。照れくさそうにする子、にこっと微笑む子、少しむっつりする子と、表現は様々でしたが、自分の思いを届けようとする気持ちが伝わってきました。それだけではなく、式が終わって教室に戻った子どもたちへサプライズがありました。今度は親から子どもへの手紙が用意されていたのです。しっかりと親の愛を感じ取る子どもたちの姿も、私たちを温かい気持ちにしてくれました。

最後は音楽室に集まってもらい、先生バンドから祝福の歌がありました。決して自画自賛するわけではありませんが、子どもたち、保護者の皆さん、地域の方々、そして教職員の思いがあふれた大変素晴らしい卒業式だったと思います。

一年の成長は大きいです

今日、平成28年度の修了式を行いました。6年生が居なくなった体育館は少し隙間が空いて、ちょっぴり寂しい気持ちになりますが、その代わり、5年生の存在感がぐっと増しました。卒業式の時もそうでしたが、しっかりと落ち着いて話を聞いたり、前向きに行動したりする姿は、もう半分6年生といってもいいですね。

1年生も背が伸びました。入学間もない頃は、泣いてばかりいる子もいましたが、朝から縄跳びを一生懸命取り組んでいる姿には、お兄さんお姉さんの貫禄十分です。

このように一年の成長はとても大きいものです。目に見える身体の成長だけではなく、内面の成長も著しいと思います。スタートしたばかりのクラスでは、いざこざが絶えなかったのに、友達を思いやるということを感じた子どもたち。学級力向上プロジェクトでは、節目で行う結果を基に、いいクラスにしようと話し合いを続けていきました。

今日は学年の終わりです。お子さんの持ち帰る通信表を、家族みんなで読んでいただきたいと思います。よいところはいっぱい褒めて、課題はいっぱい励ましてあげて欲しいと思います。来月からはまた新しいクラスで、関係づくりをゼロからスタートさせますが、たくさんの新しい出会いを大切に、これからも一

層世界を広げて行って欲しいと願っています。

通信表に顔写真？

ずっとやってみたかったことを、最後に実現してもらいました。それは通信表にお子さんの顔写真を貼り付けることです。どうしてこんなしかけを用意したのか。それは次のような理由からです。

毎年撮影した写真を貼り付けることで、通信表を並べてみると、そこに子どもの成長が見えるようになると考えたのです。入学当時幼かった子どもが、やがて顔の輪郭が変化し、様々な雰囲気をも身につけて卒業していきます。そんな変容が、通信表から見える形にすると楽しいと思ったのです。

今年84歳になるうちの母親は、私と弟の通信表を今でも大事に保管しています。いい思い出ばかりの通信表ではないのですが、それでもちゃんととっておいてくれているということは、とってもありがたいことです。小学校を卒業したからといって、それまでの通信表を捨ててしまうご家庭はないと思います。どこのうちでも、子どもの通信表はしっかりと保存しておくだろうし、そうして欲しいと願います。

春には写真を撮っているのですが、より今を生きる顔の写真をと、この忙しい中、改めて写真撮影してくれた担任の先生方、そしてほとんどの写真を印刷してくれた克己先生に感謝をしたいと思います。

ずっと「みちくさ」

2年間で、通算50号まではたどり着きたいと思っておりましたこの「みちくさ」ですが、いよいよタイムリミットが来てしまいました。まもなく退職になりますので、ここらでおしまいとします。これまで、勝手に校長が語るこのコラムに付き合ってくださいありがとうございました。忙しい時でも、「みちくさ」を考えることが、知らず知らずのうちに自分でも楽しみになっておりました。もっともっと子どもたちのことを見たいという気持ちは一杯ですが、これ以上は単なるわがままになってしまいますので、そろそろステージから退場することといたします。

今までどうもありがとうございました。